

Mランドささ山校 ニュース Vol. 21

平成20年12月1日発行 篠山自動車教習所 兵庫県篠山市池上569 TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940
発行責任者 井 隆 正 義 HP <http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

Mランドウォッキング

新しいホームの外観が徐々に出来きます。十一月八日に棟上げ後、来年一月末の竣工に向け工事は順調に進んでいます。
特徴は、疲れを癒し温泉を思う岩風呂、仲間との楽しい語らいの場となるホール、ロフトが使えるゆったり空間のシングル。ツインルームが全十六室です。

カフェ「ミロ」の方も厨房が手狭になってしまったため、今回拡張することになりました。十二月八日より一週間、工事のため閉店しますのでご了承ください。
なお、十七日から三日間リニューアル記念としてご来店のお客様に粗品をご用意しています。よろしくお願いします。



コースに隣接する新ホーム。完成が待たれます。

Mランド合同研修開催

学科合格率トップ



益田校の参加者と篠山校スタッフで集合写真

平成20年学科試験結果 (1月~10月)	
■仮免試験	
篠山校	92.0 %
県平均	65.3 %
■本免試験	
篠山校	73.7 %
県平均	56.4 %

■十一月十三日・十四日、Mランド益田校より二十一名の社員の方が見学に来社されました。姉妹校になって三年、互いのレベルアップのためにもまず現場を見て交流をと、遠路島根から車で約五時間の距離ですが、日帰りの強行軍の方も十四名参加されました。見てもらうことはとても勉強になります。ましてMランド本家本元のスタッフです。基本的な理念、行動規範は同じですが、その地での対応は多少違ってきます。わずかな時間で互いに毎日実施している朝のトイレ掃除を一緒に行なって、姉妹校という連帯感とより良くなろうという向上意欲を刺激することができた機会でした。

組織における伝統は会社といえば社風ですが、そこにあるだけで、その空気に触れ、無意識のうちに身についていく。良い環境が整えば、それは時を越えて受け継がれていく何よりの強みになります。

伝統ということは、対外的にはその名を聞いただけで一目置かれる存在にもなり、時には実力以上の効果が表れることもありますが、それはあたかも薄紙を重ねていくかのごく地道にコツコツと創り上げていかれるものようです。

■Mランドでの二輪の基本的な考え方、行動原理として

「カッコイイ紳士の運転」ということとをゲストに伝えたいと掲げています。これは、『Mランドが目指す運転免許は、小手先の運転技術ではなく、あなたのものでもあります』

「カッコイイ紳士の運転」ということをゲストに伝えたいと掲げています。これは、『Mランドが目指す運転免許は、小手先の運転技術ではなく、あなたのものでもあります』

「カッコイイ紳士の運転」ということをゲストに伝えたいと掲げています。これは、『Mランドが目指す運転免許は、小手先の運転技術ではなく、あなたのものでもあります』

「カッコイイ紳士の運転」ということをゲストに伝えたいと掲げています。これは、『Mランドが目指す運転免許は、小手先の運転技術ではなく、あなたのものでもあります』

「カッコイイ紳士の運転」ということをゲストに伝えたいと掲げています。これは、『Mランドが目指す運転免許は、小手先の運転技術ではなく、あなたのものでもあります』

「カッコイイ紳士の運転」ということをゲストに伝えたいと掲げています。これは、『Mランドが目指す運転免許は、小手先の運転技術ではなく、あなたのものでもあります』

「カッコイイ紳士の運転」ということをゲストに伝えたいと掲げています。これは、『Mランドが目指す運転免許は、小手先の運転技術ではなく、あなたのものでもあります』

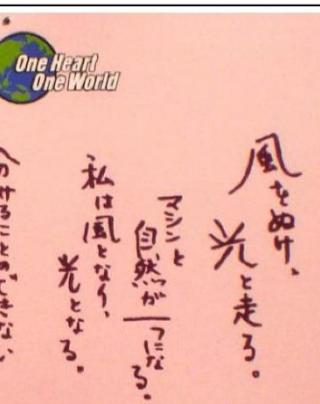
「カッコイイ紳士の運転」ということをゲストに伝えたいと掲げています。これは、『Mランドが目指す運転免許は、小手先の運転技術ではなく、あなたのものでもあります』

大型自動二輪 指定取得に向けて!

第4回バイクツーリング



平野リーダーに先導され、
教習所を出発する参加メンバー達



最後に、お互い『楽しく・美しく・カッコ良い!』篠山のライダーを目指しましょう。(後藤 茂)

ただいま大型自動二輪の指定取得に向け、練習を開始しました。来年五月末にはゲストに「夢があり、価値のある」商品とサービスが提供できるようになつかり取り組んでまいります。

新人紹介

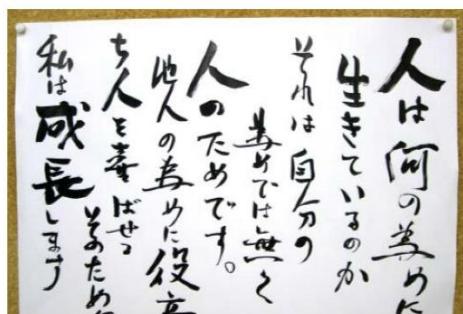


岸 恒三郎 INS.

何のために…

■ 教習所においては教習指導員が一番の商品です。指導についての日々の研究はプロとして当然ですが、その会社の理念を体現する人としてとても重要な役割をもちます。

みなさん、はじめまして。岸 恒三郎と申します。平成二十年五月に見習いとしてMランドささ山校に入社し、この十月に行なわれた教習指導員資格審査に合格することができました。これも先輩やみなさまのおかげです。本当にありがとうございました。



スタッフルームの掲示

田さんの食養講座

第二回（五回シリーズ）

ライフハーモニー
教育研究所所長
位 田 隆 久

『家庭は台所・食卓から』

食卓の風景が大きく変わりました。家族がバラで食事をする「孤食」が多くなりました。一緒に食事をしても、それが違うものを食べる「個食」も増えています。

見して豊かな食生活といいますが、何かを見失っているようにも感じます。

さて、私達は多面的な生活をしています。しか

Mランドにはゲスト・社員個々の「成長」というキーワードが根底にあります。

それは宇宙には法則があり、

この法則に沿った生き方が

宇宙は生成発展する

・与えたものが受けるもの

・思ひは実現する

・愛は家庭から始まります」。マザー・テレサの言葉です。家庭は、生

きて行く上で最も大切な愛、思いやりや共感を学び育てる場です。その中心は台所であり食卓です。

「家庭とは台所・食卓から、話し声や笑い声が溢れる所」と定義すると、立派で大きなハウスも、便利で高価なシステムキッチンもホームの必要条件は満たしません。

僚 万智さんの歌を紹介します。「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあなたかさ」。恋愛の歌ですが家庭の歌と解釈しても味わい深い歌です。『疲れたね』には『疲れたね』には『疲れたね』、『美味しいね』には『美味し

いね』です。家庭は「共感の場」です。その中心が台所であり食卓です。台所・食卓は伝統食文化継承の場であり、加えて旅の場でもあります。何處で、誰と食べるかはもつと大切です。

「タイも一人はうまからず」です。家族揃っての食卓には深い大きな意味があります。



◆位田隆久先生紹介◆

合掌

には無形の栄養素が含まれている」。兵庫県出身の日本民俗学の祖、柳田国男先生の言葉です。食卓を囲んでの一家団欒の「共食」で大人も子供も育ちます。豊かな食は「食」の場にあります。家庭は台所・食卓からです。

編集後記



静かな霧の朝です。

自分のことしか頭になく、つい忘れがちな共感すること。相手を認め受け入れる温かい心。運転にも欠かせないことがあります。(文)

■ 美しく織りなした紅葉も今は枯葉となり木枯らしによる吹き溜まりを毎朝追っかけこのように掃除しています。「懶じて露地の掃除は一旦全て掃き清めた後は、落ち葉の積もるものそのまま掃かぬが功者也」と茶人千利休は言っています。また一樹を搖すって庭一面に秋の錦を片々と黄金、紅の木の葉を散り敷かせたともいわれます。ほうきの掃き目はそれだけですがすがしく気持ちの良いものですが、あたかも自然の落ち葉のように紅葉を演出した

という利休の情味には到底思いが至りません。自然のままではなく、そこに人の手を加えて美を完成させる。自分も周りも全て活かすこと。人を喜ばせること。「一期一会」の精神に行き着くのでしょうか。(文)